

学校名	大豆島小学校		
ホームページURL	児童・生徒数	684名	
(1) テーマ 「自分の思いや願いを持って、意欲的に活動できるための総合的な学習の時間における教師の支援はどうあったらよいか」 テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 5年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい 甚句保存会の方々の駒への熱い思いにふれる中で、自分自身の思いと深めながら「私の大豆島甚句」として、願いを持って踊り、この駒への思いを広げようと(伝えようと)することができる			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 大豆島地区に300年も前から伝わる市の無形文化財「大豆島甚句」について学び、調べ、踊るという活動を通して駒保存会の人々の熱い思いにふれ、ふるさと大豆島への誇りを持って、外国人教師の方へ駒を伝えたり、教えたりした。 時数(18)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) 地区内に住む「大豆島甚句保存会」の会長さん他2名に学校に来ていただき、踊りを教えていただいた。外国人講師として中学校のAETの先生に来ていただき交流学習をした。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) 社会科学習として、甚句の調査学習を行い地域のお年寄りや家の人に聞いて調べたり、運動会に学年の皆で大豆島甚句を踊ったりして、気持ちが盛り上がった。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・大豆島甚句に対して、資料をさがしたり、地域の人たちに聞いたりして自分から調べようとした。 ・指先や表情に自分の思いや願いを表して心をこめて踊ることができた。			
(8) 成果と課題 ・大豆島甚句を守り続けようとする保存会の方々との出会いから、子ども達の中に甚句への思いが芽ばえ調べたり、話し合ったりする中で、その思いは深まっていった。今後はその思いをもっとどう広げていくかが課題である。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
 -エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題